

# Assioma アプリスタートガイド

～Assiomaアプリの使い方～



**ASSIOMA**

2025年5月改定

**nichinso**

# 目次

- はじめに 3
- Assiomaとアプリのペアリングとアクティベート 4-5
- クランク長設定 6
- キャリブレーション（校正） 7
- 自動スタンバイ設定について 8
- トラベルモードについて 9
- パワースケールファクターの設定 10
- Assioma 両足計測から片足計測へ変換する 11
- Assioma シングル計測から両足計測へ変換する 12
- ファームウェアアップデート 13

# はじめに

はじめてAssiomaを使用する際は必ずFavero Assiomaアプリ上でセンサーのアクティベート作業が必要です。

付属の電源アダプター・ケーブルで充電を行い、十分な充電状態でセンサーのアクティベート作業を行ってください。

## \* Assiomaアプリダウンロードページ

・ Apple Store

[「Assioma」をApp Storeで \(apple.com\)](#)

・ Google Play

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.favero.assioma&hl=ja&gl=US>

# Assiomaとアプリのペアリングとアクティベート

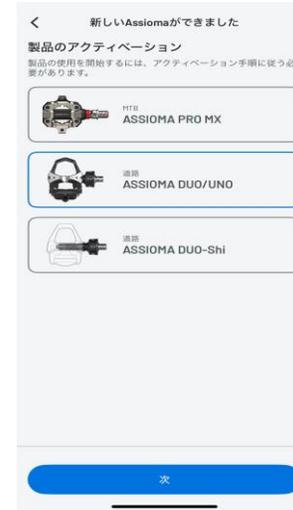


Assioma アプリを携帯電話等の端末にダウンロード、起動します。

左図のように接続するAssiomaを探す画面に移ります。

選択画面上の「新しいASSIOMAができました」をクリックします。

注：この時必ずAssiomaの電源がONになっていることをご確認ください。



起動する製品を選択する画面になるので該当商品を選択。

チュートリアルを進めるとデバイスを検索中となるので該当製品を選択。

注：この時Assiomaの電源がONになっていないと製品はできません。



接続可能なAssiomaが画面に表示されます。

シリアルナンバー、5桁のAnt+ IDとステータス、バッテリー状態、ファームウェアを見ることが出来ます。

ステータスが活動休止中と表示が出ている場合センサーのアクティベートが必須になります。

アクティベート作業を行わない場合でもサイクルコンピューターと接続は出来ませんが**パワー及びケイデンスの計測は出来ません。**

アプリとペダルを接続完了後、次にアクティベート作業を行います。

「アクティブ」をクリックしアクティベート作業を進めます。

# Assiomaとアプリのペアリングとアクティベート



アクティベートに必要な情報を入力します。

名前・姓・Eメール・国籍を入力する画面になる。

名称部分のみ入力。

入力方法は半角英数のみ

半角英数以外を入力する赤字になりチェックが入れない

日直商会 → ×    nichinaosyukai → ○

プライバシーポリシーをお読みいただき同意いただける場合

チェックを入れていただき、「送信」をクリック。

**※正しい例**



**※間違った例**



アクティベート完了後、操作終了と表示が出てアクティベート作業は完了です。

# クランク長設定

クランク長

クランク長はパワー計算の一因となります。

お使いのシクロコンピュータでクランクの長さを設定できる場合は、アプリで入力した値が上書きされるため、その値を直接入力し、このフィールドは変更しないでください。

mm 172.5

レンジ100mm~200mm (デフォルト165mm)

リセット 確認

クランクの測定方法

- ・ 精密な定規や巻き尺を使用してください。
- ・ ボトムブラケットのネジ（ボトムブラケットの軸穴の中心）から、ペダルをねじ込む穴の中心までを測ります。クランクの長さは、多くの場合、クランク本体の内側、ボトムブラケットの近くに刻印されています。
- ・ 定規または巻き尺を使って、この2点間の距離を直線で測ります。

閉じる

1	2 ABC	3 DEF
4 GHI	5 JKL	6 MNO
7 PQRS	8 TUV	9 WXYZ
.	0	⌫

ご使用されているクランクの長さを入力します。

クランクが入力値と実際が異なる場合、正確な測定ができなくなります。

長さが分からない場合、クランク裏の刻印を確認するか、クランク製造メーカーへお問い合わせください。

またこちらに入力したクランク長とご使用されるサイクルコンピュータに設定されたクランク長が異なる場合、サイクルコンピュータの数値が優先されて計測されますのでご注意ください。

# キャリブレーション（校正）



キャリブレーション（校正）を行います。

キャリブレーション開始を選択します。

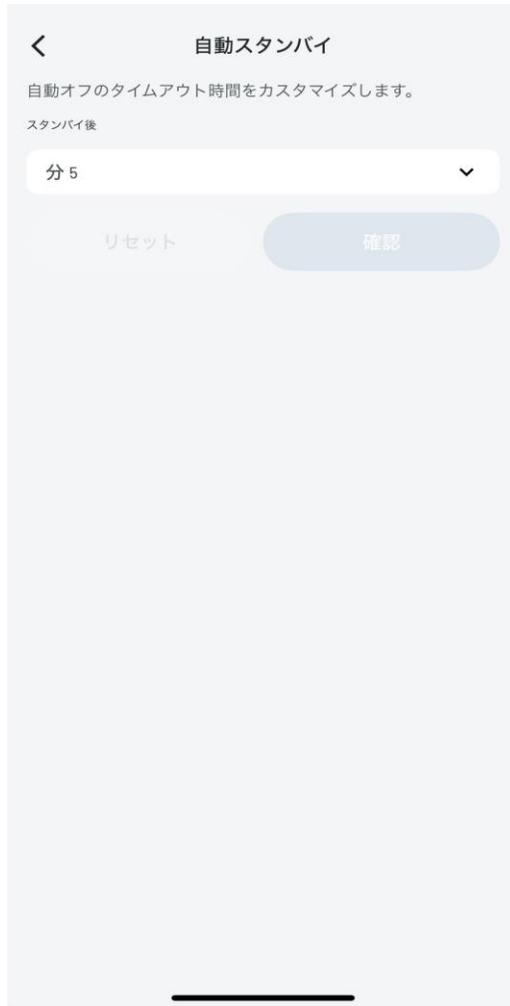
キャリブレーションを行う際はペダル位置を左ペダル6時（下）・右12時（上）の位置に動かします。自転車自体もできる限り垂直、傾きのない安定した状態にします。

違う自転車へペダルを交換した際は必ずキャリブレーション作業を行ってください。



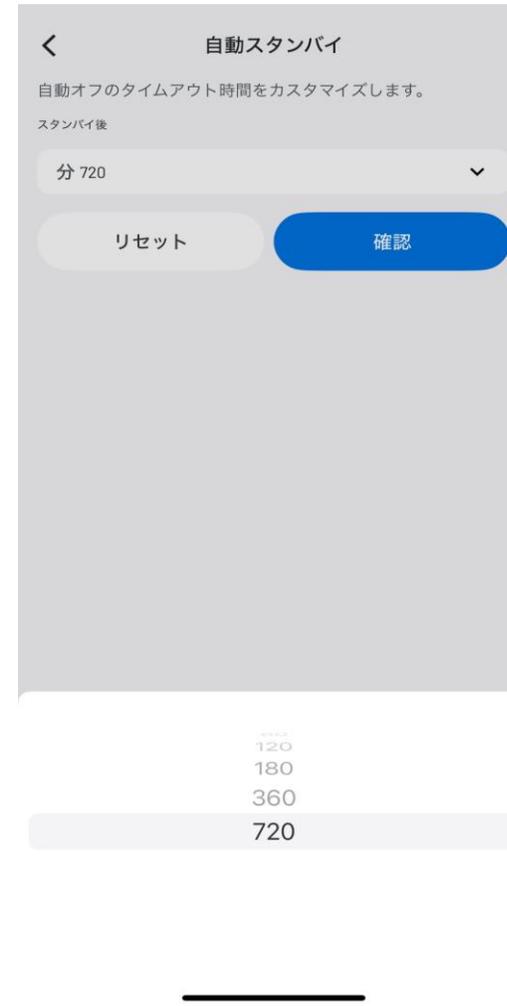
キャリブレーション（校正）が正常に完了すると「キャリブレーションが正常に行われました」と表示がされ作業完了です。

# 自動スタンバイ設定について



自動で電源が切れるまでの時間を設定することが出来ます。

スタンバイ後のタブをクリックし、選択した時間に自動でペダルの電源がOFFになります。



スタンバイ時間は5、10、15、20、25、30、45、60、120、180、360、720分と設定可能です。

# トラベルモードについて



トラベルモードは自動起動をOFFにすることが出来ます。

トラベルモードを起動するを選択します。



「本当にトラベルモードを有効にしますか？」と表示が出るので確認を選択することでトラベルモードになります。

トラベルモードは再度充電をしない限り解除されません。

# パワースケールファクターの設定

← パワー・スケール・ファクター

ペダルは工場でキャリブレーション済みです。  
この値は、テクニカルサポートからの提案に従ってのみ変更してください。

左ペダル(L)

— % 0.00 +

右ペダル(R)

— % 0.0 +

リセット 確認

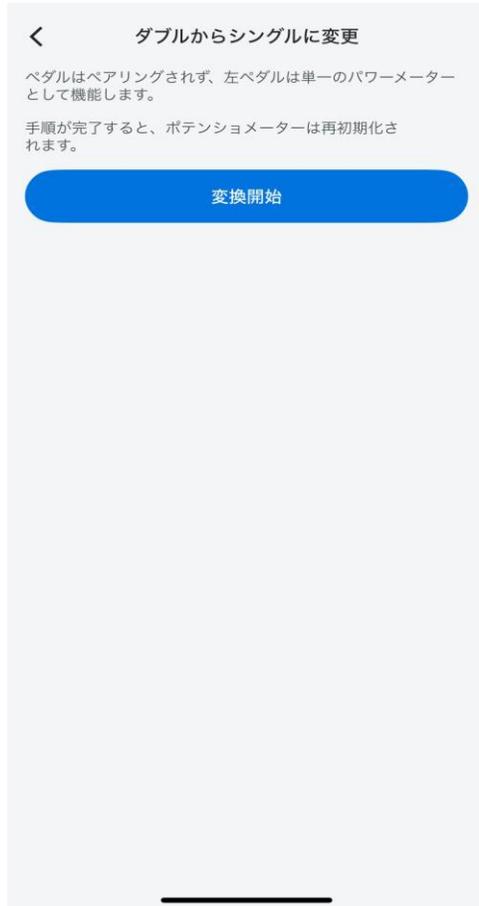
パワースケールファクターは特殊なケースで使用する場合に役立つ機能となります。

特殊なケースとは左右でクランク長が異なる場合等でサイクルコンピュータでクランク長の設定が不可の場合に誤差を補正するのに用います。

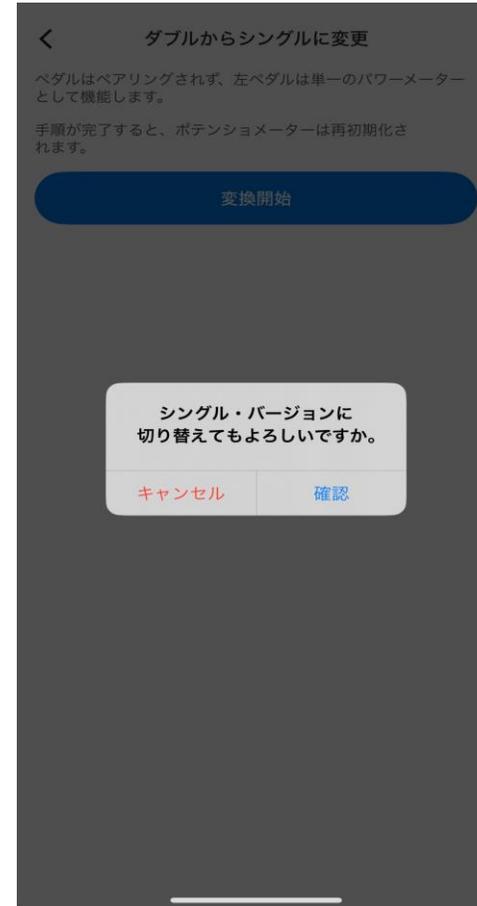
またインドアトレーニングにてトレーナーでのパワー計測値と実走での数値に乖離がある場合に補正する場合にも使用されます。

むやみにパラメータの変更を行うと数値等に異常が発生する場合がございます。

# Assioma 両側計測（ダブル）から片側計測（シングル）へ変換する



両側計測（ダブル）から片側計測（シングル）へ変換する場合、変換開始を選択します。

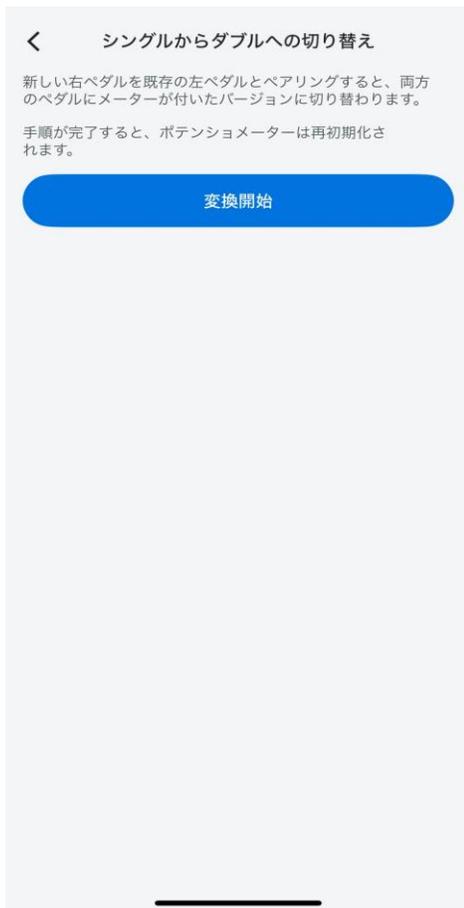


その後、「シングル・バージョンに切り替えてもよろしいですか。」と表示されるので「確認」を選択します。

ダブルからシングルに変更と表示がされたら作業完了です。

# Assioma 片側計測（シングル）から両足計測（ダブル）へ変換する

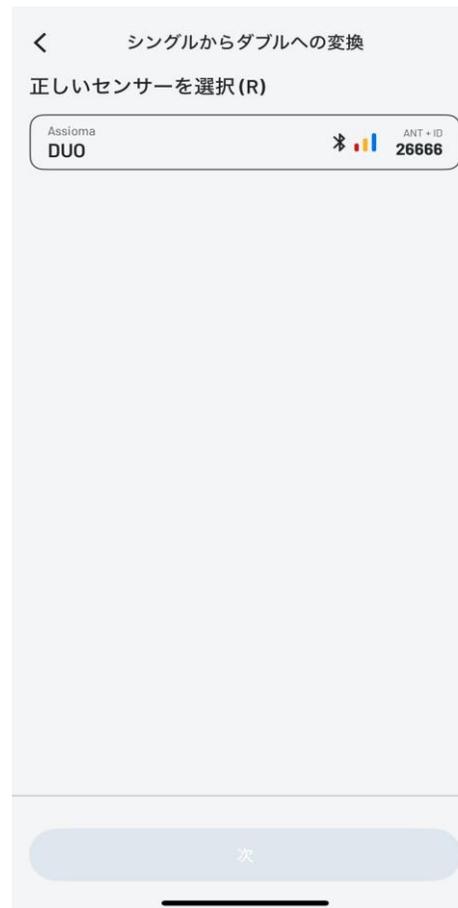
注：アップグレードキットの使用必須



Assioma UNOとアップグレードキット（右側ペダル）を用意します。

両者を電源ONにします（ペダルを回す、もしくは一度充電を行います）

シングルからダブルへの切り替えの変換開始を選択し、ペアリングを開始します。



アップグレードキットの右側ペダルが表示され、該当のペダルを選択し「接続」をクリックすると左右のペダルがペアリングされます。

「本当にダブル・バージョンに変更しますか？」と表示されるので「確認」を選択します。

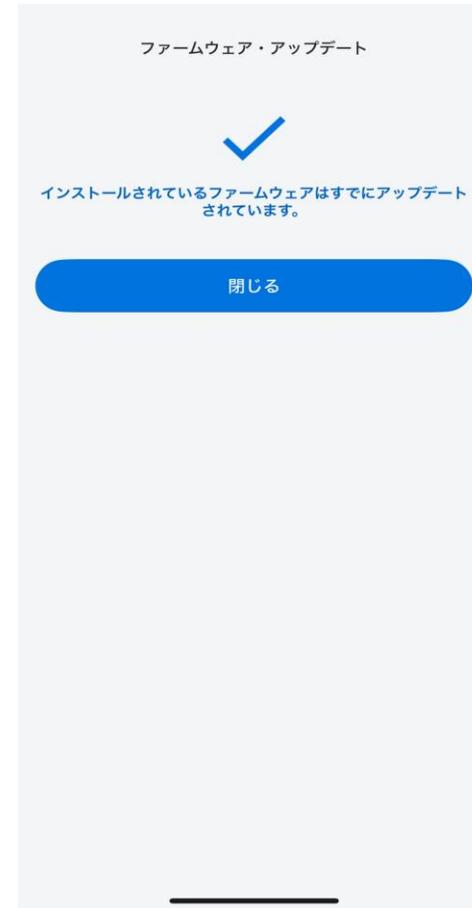
アップデートが正常に行われましたと表示がされたら作業完了です

# ファームウェアアップデート



最新のファームウェアがある場合、新しいファームウェア・アップデートが利用可能と表示が出ます。

アップデートをクリックし、アップデート作業をします。



ファームウェアがアップデートされ、最新の状態だと「インストールされているファームウェアはすでにアップデートされています。」と表示が出たらファームウェアアップデート作業は完了です。

ファームウェアが最新ではない場合、使用に問題が生じる場合がありますのでご自身で定期的にアプリ接続をしていただきファームウェアの確認をお願いします。



 **Favero**  
ELECTRONICS